



4～6人 8歳以上 20分

### ゲームの目的

『モックワード』は対戦型のワードゲームです。

プレイヤーは、1人の《回答者》と残りの《サポート》に分かれます。《サポート》は、複数のお題から正解を《回答者》に当ててもらおうよ、ヒントになるワードを一緒に作ります。

《サポート》のうち1人は《オジャマ》となります。《回答者》が正解を当てれば《オジャマ》以外の全てのプレイヤーが得点をもらい、正解を外せば《オジャマ》だけが得点を得ます。

自分だけが得点もらえるよ、《オジャマ》は良いヒントになるワードができるのを妨害します。

ゲーム終了時に最も得点が多いプレイヤーが勝者です。

ゲームのルールには、勝ち負けを気にせず楽しみたい人向けの基本ルールと、勝ち負けにこだわりたい人向けの高級ルールの2つがあります。

### 内容物

お題カード 45枚

正解カード 5枚



表

裏

表

裏

役割カード 5枚

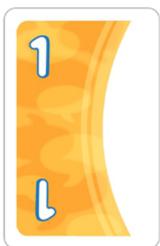


表 (ナカマ4枚, オジャマ1枚)

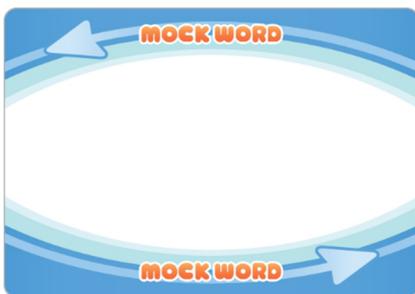
裏

番号カード 5枚

回答ボード 5枚



表/裏共通



- ・筆記具 5本
  - ・イレーザ (布) 6つ (※うち1つは予備)
  - ・ルールブック 1部
- (※回答ボードの汚れが落ちにくいときはアルコールで拭いてください)

※最初に基本ルールを説明します。上級ルールは最後に説明します。

### ゲームの準備

プレイヤー人数に応じて、以下の役割カードをゲーム中に使います。使わないカードは箱の中に入れてください。

- [4人プレイ] ・ ・ ナカマ2枚, オジャマ1枚
- [5人プレイ] ・ ・ ナカマ3枚, オジャマ1枚
- [6人プレイ] ・ ・ ナカマ4枚, オジャマ1枚

最初の《回答者》となるプレイヤーを1人決めます。

《回答者》以外のプレイヤーは《サポート》となり、回答ボード、筆記具、イレーザを1組ずつ受け取ります。余った回答ボードなどは箱の中に入れてください。

お題カードをよく混ぜて裏向きの山を1つ作ります。

### ゲームの進行

ゲームはプレイヤー人数と同じ回数のラウンドにわたって進みます。

各ラウンドにおいて、ゲームは以下の手順で進みます。

- ① お題と役割の設定
- ② 正解の決定
- ③ ワードの記入
- ④ 役割とワードの公開
- ⑤ 回答と得点

#### ① お題と役割の設定

《回答者》は、役割カードを1枚ずつ裏向きで《サポート》に渡します。《サポート》は、カードの表に書かれた役割を他のプレイヤーに見えないように確認します。「ナカマ」と書かれていれば役割は《ナカマ》となり、「オジャマ」と書かれていれば役割は《オジャマ》となります。確認したら表面を伏せて手元に置きます。

番号カードを〔1〕から〔5〕まで順番に並べます。

お題カードの山からカードを5枚引いて、下図のように表面を上にして各番号カードに1枚ずつ重ねます。重ねた番号カードに書かれた数字が、そのお題の番号となります。

#### カード配置の一例



※例として5人プレイを想定

#### ② 正解の決定

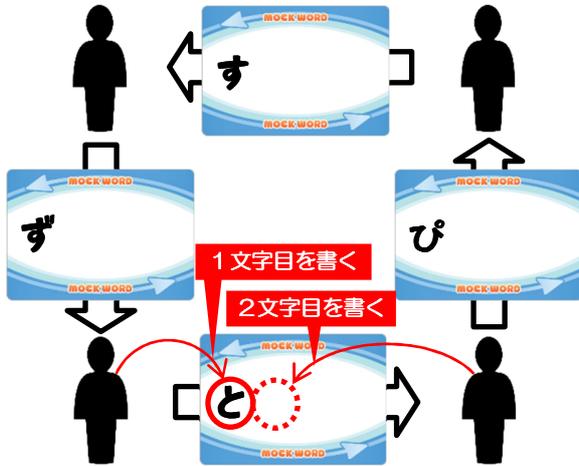
《回答者》は、正解カードのうち1枚を選び、数字が書かれた表面を《サポート》に公開します。このとき《回答者》はカードの表面を確認してはいけません。

公開された数字と同じ番号のお題が正解となります。正解を確認したら、表面を伏せて番号カードの近くに置きます。

### ③ ワードの記入

《サポート》は全員、ヒントとなる4文字のワードを考え、その最初の1文字だけを回答ボードにひらがなで書きます。全員が文字を書き終わったら、右隣りの《サポート》に回答ボードを渡し、左隣りの《サポート》から回答ボードを受け取ります。(ボードの受け渡しは逆方向でも構いません)

ワード記入の一例



※例として5人プレイを想定

受け取った回答ボードに2文字目を続けて書きます。このワードの回し書きを回答ボードに4文字目を書くまで同じ方向に続けます。回答ボードには、文字を左端から順番に書いてください。(最初の1文字は4文字のワードにおける頭文字となり、2番目以降の文字はそれに続けて順番に書かれます)

#### 《回答ボードに文字を書くときのルール》

以下の文字は回答ボードに書けません。

##### ・小さい文字

「っ」や「ゅ」などの小さい文字は書けません。



##### ・「ー」(伸ばす音)

伸ばす音を「ー」で書けません。代わりに伸ばす音を「あ」「い」「う」「え」「お」などで書けます。



##### ・各お題の最初の連続2文字

各お題における最初と2番目の2文字を連続して書けません。例として、お題が「ちかいもの」なら、「ちか」の連続2文字を回答ボードに書けません。



4人プレイでは《サポート》が3人いるので、ワード4文字の最初と最後を同じプレイヤーが書くこととなります。6人プレイでは《サポート》が5人いるので、いずれのプレイヤーも5枚の回答ボードのうち1枚については1文字も書かないこととなります。

### ④ 役割とワードの公開

《サポート》は、プレイヤー全員に役割を公開します。《オジャマ》は、書かれたワードが《回答者》に見えないよう、回答ボードを全て回収します。《オジャマ》は、回答ボードに書かれたワードを確認し、ワードを3つ選んで《回答者》に公開します。選ばなかったワードは《回答者》に見えないよう隠してください。(4人プレイでは回答ボードは3枚なのでワードを全て公開します) **【注意】公開されたワードを《サポート》は声に出して読んではいけません。(声の抑揚が正解のヒントになります)**

### ⑤ 回答と得点

《回答者》は、正解と思うお題の番号を1つだけ言います。正解の場合、《回答者》と《オジャマ》が得点1を各自もらいます。不正解の場合、《オジャマ》のみが得点1をもらいます。得点をもらうプレイヤーは、番号カードに重ねたお題カードを得点1が書かれた裏面に返して、1枚ずつ取ってください。余ったお題カードは捨て札となります。《回答者》の隣のプレイヤーは、次のラウンドの《回答者》となり、正解カードと役割カードを回収します。

### ゲームの終了

プレイヤー全員が1回ずつ《回答者》を担当したらゲームは終了です。終了した時点で最も得点が多いプレイヤーが勝者です。最も得点が多いプレイヤーが複数名いる場合は、その全員が勝者です。

### 上級ルール

基本ルールに以下のルールが追加/変更されます。

#### [ゲームの準備]

〔5〕が書かれた正解カードと番号カードはゲーム中に使えません。これらのカードを箱の中に入れてください。

#### [ゲームの進行]

お題の数は4つになります。回答ボードに書ける文字の制限が更に加わります。

#### 《回答ボードに文字を書くときの追加ルール》

##### ・各お題の最初の2文字はそれぞれ書けません

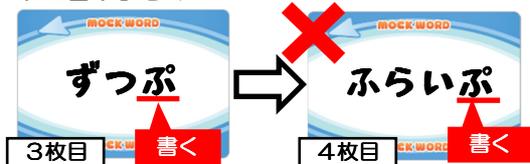
例として、お題が「ちかいもの」「たかいもの」「かたいもの」「おおいもの」の4つなら、「ち」「か」「た」「お」は全て回答ボードのどこにも書けません。

##### ・ひとつの回答ボードに同じ文字を連続して書けません

濁点や半濁点をつければ違う文字とみなします。



##### ・直前の回答ボードに書いたものと同じ文字を次の回答ボードに書けません



このたびはお買い上げくださり、ありがとうございました。ゲームに関するご質問やご感想は、info@fudacoma.jp までお願いいたします。  
ゲームデザイン：沢口游祐  
アートワーク：たかみまこと  
テストプレイヤー：ゆきこ、ヒロシ、みやもと、Kotone、うて、まり、もちづき、名古屋テストプレイ会のみなさん(順不同&敬称略)